

研究指導 八木橋 彰 講師

エコツーリズムによる会津若松の持続可能な観光モデルの提案

菅沼千裕 鈴木希望

序章

1.研究動機

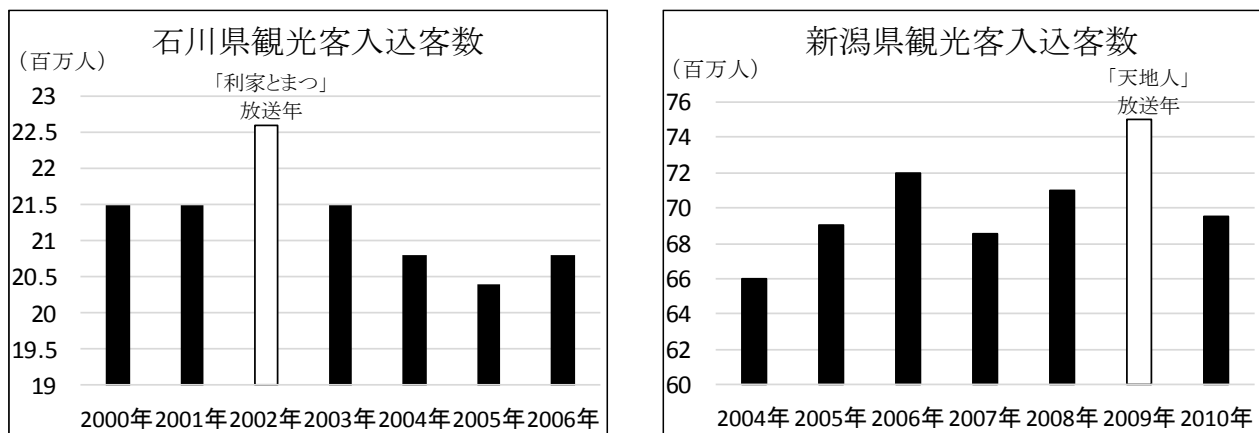
現在私たちが住む会津では、図表 0-1 に示されるように、平成 23 年に起きた震災及び原発問題の風評被害により観光客数が大幅に減少した。しかし、平成 25 年度に放送された NHK 大河ドラマ「八重の桜」により、再び観光客数の増加が予想された。会津若松市では、PR のため様々な宣伝活動を行い、大河ドラマ館を開館するなど、観光客の増加に対応した。その一方、図表 0-2 に示されるように、NHK 大河ドラマによる観光客の増加には特徴があり、放送翌年には大幅に観光客数の減少が見られる。そこで、NHK 大河ドラマ「八重の桜」の効果によって増加した観光客数を維持したいと考えた。

図表 0-1:会津若松市鶴ヶ城天守閣・市内主要民間観光施設利用客数

年度	鶴ヶ城天守閣利用客数(人)	市内主要民間観光施設利用客数(人)
平成21年	734,142	804,823
平成22年	500,51	750,29
平成23年	474,691	389,747
平成24年	556,48	550,374

(出典:福島県商工労働部観光交流課調査結果)

図表 0-2:NHK 大河ドラマ放送前後の舞台地の観光客入込客数



(出典:石川県・新潟県各県ホームページ)

2.研究目的

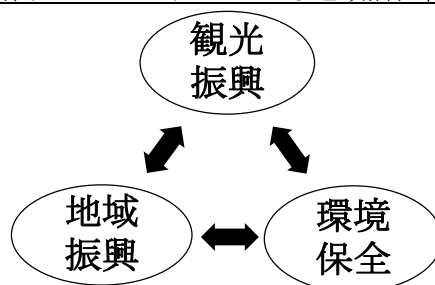
本研究では、会津若松市の活性化を研究目的とする。地域活性化には、持続可能な観光のあり方が必要であり、それには、エコツーリズムを用いた観光が最適であると考えた。エコツーリズムとは、自然環境の他、文化・歴史等を観光の対象としながら、その持続可能性を考慮する観光事業である。会津若松市には豊富な歴史・文化が存在するため、それらを活用し、エコツーリズムの考えに基づいた観光を行うことが可能である。以上から、本研究では、エコツーリズムの視点から会津若松市の豊富な歴史・文化を活用し、持続可能な観光モデルの構築・提案を行う。そして、それにより地域活性化を図る。

本章

1.エコツーリズムとは

日本エコツーリズム協会によるエコツーリズムの定義として、以下の 3 つが挙げられている。①自然・歴史・文化など地域固有の資源を生かした観光を成立させること。②観光によってそれらの源が損なわれないよう、適切な管理に基づく保護・保全をはかること。③地域資源の健全な存続による地域経済への波及効果が実現することをねらいとする、資源の保護+観光業の成立+地域振興の融合をめざす観光の考え方である。それにより、旅行者に魅力的な地域資源とのふれあいの機会が永続的に提供され、地域の暮らしが安定し、資源が守られていくことを目的とする。これらの定義に基づいて行われるのがエコツアーとなる。

図表 1: エコツーリズムによる地域活性化



(1) 期待できる効果

エコツーリズムによって期待できる効果は、地域資源の持続・観光客の持続的誘致・雇用創出の 3 つがある。

a) 地域資源の持続

エコツーリズムは、自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかたのことである。この考えを通じて、地域資源の重要性を観光客、地域住民に再認識させる効果が期待できる。それにより、地域資源が大切に守られ次世代にも受け継がれていくことになる。

b) 観光客の持続的誘致

地域資源の持続によって、その資源を用いた観光が持続的に可能になる。それにより、観光客の持続的誘致が可能になる。

c) 雇用の創出

エコツーリズムによる効果として、雇用の創出が挙げられる。エコツアーの構築には多くの役割が必要となる。そのため、本研究の対象となる会津若松市においてもエコツーリズム事業を取り入れることで新たな雇用の創出をもたらすことができると考えた。以下エコツアーの構築に要する役割を紹介する。

① エコツーリズム推進アドバイザー

外部のアドバイザーの助言・指導によってより良い取り組みの方向性を探ろうと希望する地域に派遣される、専門知識を有する人物のことである。この役割は、それぞれの地域が抱えている課題やニーズに対して個別に助言・指導を行うことで、より一層のエコツーリズムの推進を図る手助けをする。

② エコツアープロデューサー

ツアーを企画・構成する人物のことである。エコツアープロデューサーは、地域住民、観光客、行政、アドバイザーなどを結びつける役割を有する。

③ツアーガイド

ツアーに同行し、地域資源の歴史や魅力を観光客に直接伝える人物のことである。地域の資源について詳しく知っている必要があり、観光客に最も密接に関わる人物である。

2. エコツアーと従来のツアーとの違い

エコツアーとは先に挙げたエコツーリズムの考え方に基づいて実践されるツアーの一形態である。従来行われたツアーとは一線を画するツアーとなっている。その理由として、従来行われてきたツアーの形式としては、マストツーリズムと呼ばれる観光形態が主流であったためである。これは、大勢の観光客を地域へ誘致することで、経済効果を享受するというやり方であり、現在もほとんどがこの形で行われている。

3. 先行事例(福島県北塩原村裏磐梯地区)

本研究では、先行事例として裏磐梯地区(福島県北塩原村)を取り上げる。会津地域におけるエコツーリズムの現状を調査した結果、会津地域では、平成16年度から3ヶ年にかけて、環境省のエコツーリズム推進モデル地域に指定された裏磐梯地区がエコツーリズムによる観光事業を実施しており、本研究の先行事例として調査を行った。

(1) 裏磐梯(福島県北塩原村)の取り組み

a) 事業概要

① エコツアーカフェの実施

裏磐梯エコツーリズム協会では、エコツアーカフェと呼ばれるカフェスタイルでの講座を開催している。この講座では、お茶を楽しみながら、裏磐梯地区が取り組むエコツーリズム事業や裏磐梯地区のすばらしさの紹介、今後の取り組みに関して参加者による意見交換などが行われている。

② エコツアーの提供

裏磐梯では自然資源を生かしたエコツアーが行われており、主に裏磐梯で活動しているガイド団体等が提供している。これは、ツアーガイドと共に実際に歩きながら裏磐梯の自然や歴史に触れることで、裏磐梯の良さを肌で感じることができるツアーとなっている。

b) 先行事例の問題点

以上で紹介した先行事例にはいくつかの問題点がある。問題点としては、①自然環境保護の教育手段的な活動が多く、観光形態に偏りがみられる。②自然的な観光資源の活用ばかりが目立ち、歴史的観光資源の活用が見られない。これらの問題点から、本研究では、文化・歴史を主軸とし、且つ自然環境に配慮した観光モデルの提案を行う。

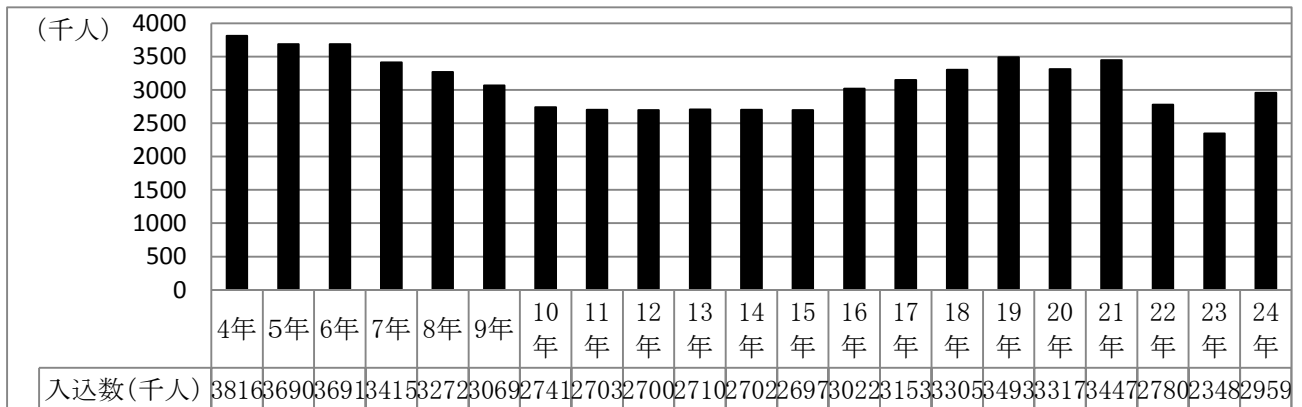
4. 会津若松市の観光事業

(1) 観光の現状

以下の図によれば、観光客入込数は平成4年から平成15年にかけて減少傾向にあった。また、平成16年以降数年間はやや回復がみられたものの、平成22年鶴ヶ城の赤瓦への吹き替え工事や、翌平成23年東日本大震災による原発事故の風評被害の影響もあり、観光客数は大幅に減少した。しかし、平成24年の観光客入込

数は、震災前の水準には達していない状況にはあるものの、様々な観光復興に向けた取り組みの効果により、前年に比べて611千人(対前年比126.0%)の増加となった。

図表4:会津若松市観光客入込客数(平成4年から平成24年)



(出典:会津若松市観光課「平成24年会津若松市観光客入込数」より作成)

(2) 観光事業概要

a)「ハンサムウーマン八重と会津博大河ドラマ館」の開館

平成25年NHK大河ドラマ「八重の桜」の魅力を紹介した「ハンサムウーマン八重と会津博大河ドラマ館」が、平成25年1月11日から平成26年1月14日の約一年間に渡り会津若松市の県立博物館に隣接する旧会津図書館で開館された。来場客数は当初目標としていた60万人を超える61万1558人となり、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故による風評被害の影響で落ち込んでいた会津の観光の復興に大きく貢献した。

b)会津若松観光ナビ

会津若松観光物産協会が運営する会津若松観光情報サイト。会津若松市の観光に関する情報を随時更新している。モデルコースをはじめ、観光スポット、グルメスポット、お土産・逸品の店舗情報、年間イベント情報、宿泊施設情報、交通・アクセス情報などを提供している。また、「10分でわかる！会津若松～サムライシティ・ダイジェスト～」と題して、テーマごとに会津若松市の魅力を分かりやすくまとめて紹介している。

c)「新島八重とまち歩きスイーツ&カフェ」キャンペーンの実施

500円でお茶やケーキ等を楽しむことができる「新島八重とまち歩きスイーツ&カフェ」というキャンペーンを実施している。参加店は16店舗で、各店のおすすめメニューを通常価格より安く提供している。また、参加店のスタンプを2つ集めると、日帰り温泉を500円で楽しむことができる特典が付いている。さらに、キャンペーン終了後、ペア宿泊券やスイーツなどの豪華景品が当たるお楽しみ抽選会も実施される予定。

(3) 会津若松市の観光の課題

会津若松市はまち歩きを推奨しており、上で紹介した会津若松観光ナビでは、モデルコースをいくつか提案している。しかし、実際に観光客によって利用されているかは分からない。それにより観光客のニーズを把握することができず、会津若松市の観光の質の向上が期待できないと考えられる。また、まち歩きと題しているにもかかわらず、「まち歩きスイーツ&カフェ」への参加店舗は、七日町周辺に偏っていることから、より広範囲でのまち歩きを策定する必要がある。そこで、本研究ではまち歩きをツアー化することで、ガイドを通じた観光客のニーズの

把握と、広範囲に及ぶまち歩きを可能にできると考えた。

5.会津若松市観光物産協会へのヒアリング

会津若松市の観光の現状を調査するため、会津若松観光物産協会へヒアリング調査を行った。その結果以下の情報が得られた。

(1)会津鶴ヶ城歴史ウォークの実施

会津若松観光物産協会では、以下の図表に示す通り、会津歴代領主のゆかりの地をめぐる歴史ウォークが毎年 7 月に開催されている。ここで集められた資金は、主に広告宣伝費約・参加者への特典・資料提供などに使われている。

課題としては、ツアーが大規模であるため、ガイドの負担が大きいこと、また、ガイドが一人ひとりに割く時間は限られ、参加者のニーズに応えることは非常に難しいということが挙げられる。

図表 5:会津鶴ヶ城歴史ウォーク概要

コース距離	約 14 キロ	※観光課・観光公社・観光協会から各 50 万計 150 万
参加費	500 円	参加者から 25 万円 (=500 人×500 円)
人数	500 人	合計:175 万円が資金

(2)ターゲットの策定

ヒアリング調査の結果として、全消費者の中で若い女性の購買力は最も高いということがわかった。会津若松市でも、今後の新たなターゲットとして、若い女性向けのコース構築に力を入れていくという方針を示していた。よって、この調査で得られた情報から、本研究ではターゲットを若い女性を中心とした若年層に絞りモデルコースの構築を行う。

6.観光モデルの提案

(1)会津若松市の観光資源を用いたエコツアーの構築

本研究では、2013 年放送 NHK 大河ドラマ「八重の桜」で注目された時代背景に焦点を当て、その時代に活躍した人物等に関連する史跡や歴史的建造物を用いたエコツアーを構築する。

a)観光スポットの分類

本研究の条件に該当する観光スポットを抽出し、人物別等で観光スポットの分類を行った。その結果、①新島(山本)八重(山本家):5 箇所、②白虎隊:4 箇所、③新撰組:3 箇所、④松平容保(会津松平家):2 箇所、⑤その他会津藩士:6 箇所、⑥会津藩関連:10 箇所、⑦その他:3 箇所、合計 33 箇所となった。以上の観光スポットの中から、位置や施設料金などを考慮し、エコツアーの構築を行った。

b)学生へのアンケート調査

エコツアーの構築に先立ち、会津短大生へのアンケート調査を行った。質問項目は、行ってみたい観光スポットやツアー価格等といったエコツアー構築の判断材料となる全 11 項目を質問した。

これらの調査結果から、短時間で低価格なツアーが求められていることが分かった。また、観光スポットとしては新撰組等の全国的にも有名な人物に関連する場所が多く挙げられていた。

c) モデルコースの提案

以上の調査結果を踏まえ、短時間且つ低価格で HNK 大河ドラマ「八重の桜」に関連する場所を巡ることができるエコツアーを提案する。以下構築したツアー概要・モデルコースを紹介する。

ツアー概要	テーマ	「八重のふるさとエコツアー～八重のゆかりの地を歩く～」
	ツアー手段	1) 歩き 2) 城下町レンタサイクル(一日レンタル 500 円 会津若松市観光公社) 3) ※まちなか循環バス「エコろん号」、まちなか周遊バスハイカラさん・あかべえ
	ターゲット層	若者(特に若い女性)
	ツアー時間	半日
	人数	1 名から 10 名程度
	ツアー料金	1 人あたり 3000 円(うちツアーガイド代 2000 円)
	参加特典	次回利用割引券 会津の特産品のプレゼント など
	備考	ツアーガイド付き

モデルコース	コース名	時間	場所	備考欄
	七日町周辺コース	9:30	スタート地点:鶴ヶ城	天守閣料金:大人 400 円 午前 8 時半～午後 5 時まで営業 (※レンタサイクル 500 円)
		9:40	山本八重生誕の地	
		10:00	日新館天文台跡	
		10:30	長命寺	・戊辰戦争の激戦地
		12:15	昼食	七日町にて各自
		13:30	会津新撰組記念館	料金:高校生以上 300 円 午前 10 時～午後 5 時まで営業
		14:15	西軍墓地	
		15:00	西郷頼母邸跡	
		15:30	ゴール地点:鶴ヶ城	(※レンタサイクルの返却)
	飯盛山周辺コース	9:30	スタート地点:会津若松駅	(※レンタサイクル 500 円)
		10:00	白虎隊士の墓	
		10:30	白虎隊記念館	
		11:00	昼食	飯盛山にて各自
		12:30	旧滝沢本陣	料金:大人 300 円 午前 8 時半～午後 6 時まで営業
		13:30	石部桜	・NHK 大河ドラマ『八重の桜』オープニングの桜
		14:15	妙国寺	・白虎隊仮埋葬地

		15:30	ゴール地点:会津若松駅	(※レンタサイクルの返却)
東山周辺コース		9:30	スタート地点:鶴ヶ城レンタサイクルステーション	(※レンタサイクル 500 円)
		10:00	天寧寺	・近藤勇、萱野権兵衛の墓
		11:00	会津松平家墓所	
		11:30	会津武家屋敷	料金:大人 850 円 午前 8 時半～午後 5 時まで
		12:30	昼食	東山にて各自
		13:30	小田山公園	・西軍砲陣跡
		14:15	善龍寺(30分)	・なよたけの碑 ・西郷頼母の墓
		15:30	ゴール地点:鶴ヶ城	(※レンタサイクルの返却)

d) ゴミ拾いウォーキング

今回提案したエコツアーは、徒歩またはレンタサイクルの活用を前提としている。そこで、まちなかのゴミ拾いも兼ねたエコツアーの実施を提案する。これは、以上で挙げた様なエコツアーの中で、会津の文化や歴史に触れながら参加者がまちなかのゴミ拾いを行うというものである。これらの実施は、エコツーリズムの概念を参加者に浸透させるのに有効的な手段であると考え。また、環境の維持は、持続的な観光資源の活用にも繋がるといえる。

(2) その他観光モデルの提案

a) 「まち歩きスイーツ&カフェ」を用いたエコツアーカフェの実施

会津若松市の観光概要でも詳しく紹介したが、会津若松市では、「まち歩きスイーツ&カフェ」というキャンペーンを実施している。そこで、これらを用いたエコツアーカフェの実施を提案する。参加店でスイーツやカフェを楽しみながら、講話ガイドが会津の歴史に関するテーマについて話し、会津の歴史や魅力を学ぶことができる。このモデルの実施によって、まち歩きスイーツ&カフェの推奨とエコツーリズム事業の促進が期待できる。ただし、まち歩きスイーツ&カフェ参加店の協力・連携が必要不可欠である。今後、まち歩きスイーツ参加店に限らず、様々な場所でエコツアーカフェが開催できたら良いのではないかな。

b) 人材育成体制の構築

先に挙げたように、エコツーリズムには雇用創出の効果がある。そのため、エコツーリズムを行うにあたり、ツアーガイドをはじめ、エコツーリズム推進アドバイザー、エコツアープロデューサー等の人材育成が必要である。そのため、地域住民から養成講座への参加者を募集し、役職ごとに講習会を開いてノウハウを学習する体制を構築する必要がある。また、各エコツアーの資格取得に向けた支援体制の構築も必要である。

c) 景観の維持

持続可能な観光を行うには、景観の維持が欠かせない。そのため、ゴミ拾いや水路の清掃、遊歩道の整備等を定期的に行う必要がある。地域住民一人ひとりが景観を維持する意識を高く持ち、ボランティア活動を積極的に

行う等、自ら進んで美しいまちづくりに参加していかなければならない。

7. 本研究の限界と今後の展望

本研究では、エコツーリズムによる会津若松市の観光モデルの提案を行ったが、提案後の効果の検証を行うことが本研究では不可能である。そのため、今後、本研究で提案した観光モデルを実際に実施し、効果を検証することが必要である。そこで、提案先として会津若松観光物産協会をはじめ、旅行会社等の観光事業に携わる団体が考えられる。今後、本研究で提案した観光モデルに限らず、エコツーリズムの視点を持って、旅行者・行政・地域住民等が連携し、持続可能な観光事業に取り組まなければならないと考える。

本研究で提案したエコツアーは、歴史・文化に焦点を当てて構築した。今後、会津若松市だけでなく、多くの地域に広がる足がかりとなって欲しい。

【参考文献】

- 1) 敷田麻美 編著『地域からのエコツーリズム』2008 学芸出版
- 2) 額賀信 著『地域観光戦略』2008 日刊工業新聞社
- 3) 会津若松市役所観光課『平成24年会津若松観光客見込み概況について』2013
- 4) 日本銀行福島支店『NHK大河ドラマ「八重の桜」に伴う県内経済への波及効果』2013
- 5) とうほう地域総合研究所『八重の桜で盛り上がる会津若松市の観光動向について』2013
- 6) 国土交通省都支局『歴史・文化資産を活かした復興まちづくりに関する基本的考え方』2012
- 7) 国土交通省総合政策局旅行振興課『地域観光マーケティング促進マニュアル』2006
- 8) 日本能率協会総合研究所『顧客ニーズを把握する方法』2005

【参考 URL】

- 1) 日本エコツーリズム協会 <http://www.ecotourism.gr.jp/>
- 2) 環境省エコツーリズム <http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/>
- 3) 福島市ふくしまウェブ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>
- 4) 会津若松市市役所 <http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>
- 5) 会津若松観光物産協会 <http://www.aizukanko.com/spot/>
- 6) 会津若松市観光公社 <http://www.tsurugajo.com/>
- 7) 会津若松市「八重の桜」プロジェクト協議会 <http://yae-sakura.jp/aizuhaku>
- 8) 福島県観光交流局観光交流課八重のふるさと福島県 <http://www.yae-mottoshiritai.jp/>
- 9) 極上の会津 <http://gokujo-aizu.com/>
- 10) 会津物語 <http://aizumonogatari.com/tour/>
- 11) 裏磐梯エコツーリズム協会 <http://www.eco-urabandai.com/>
- 12) 福島県裏磐梯観光協会 <http://www.urabandai-inf.com/index.php>
- 13) 裏磐梯エコガイドの会 <http://www.ecoguide-urabandai.com/index.html>
- 14) 裏磐梯ナチュラルビズ <http://natural-biz.info/>
- 15) エコツーリズムと持続可能な観光 <http://ecozy.fc2web.com/#>